

健康

食道がん手術難しい？

【質問】 近くの病院で胃カメラ検査を受けたところ、食道がんと診断されました。食道がんの手術は難しいと聞いたことがあります。どのような手術になるのでしょうか。



後藤 正和

徳島大学病院食道・乳腺甲状腺外科 診療科長

【回答】

食道は喉と胃をつなぐ管状の臓器です。同じ食事の通り道である胃や大腸のがんと比べて、食道がんは治りにくい病気と考えられています。

食道はほとんど筋肉でできており、いわばゴムの管を伸ばした状態になっているため、部分切除ができません。食道がんの手術では、がんの部分を含む食道と周囲のリンパ節を摘出した後に、食道の代わりを作り直す必要があります。多くは胃を代用します。

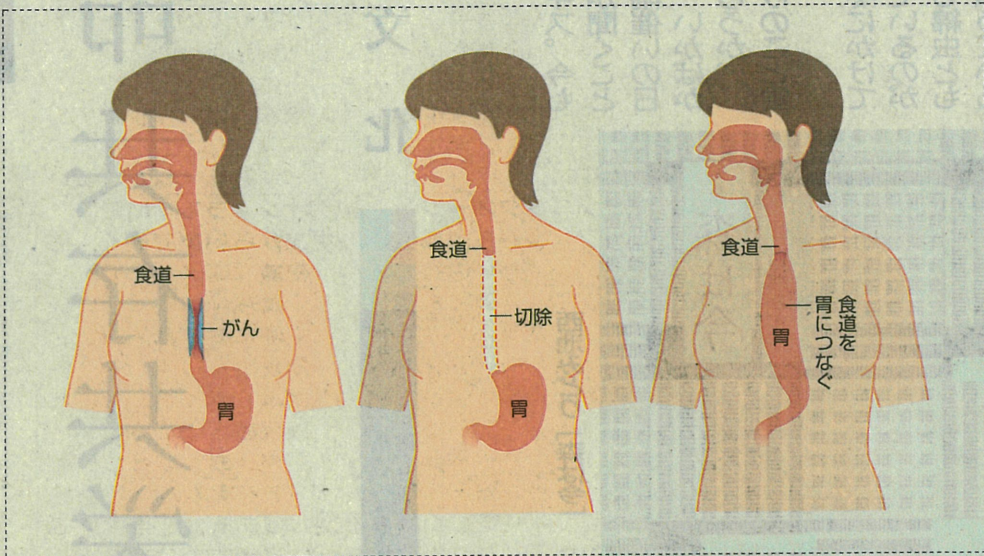
リンパ節への転移も胃がんや大腸がんよりも多いため、リンパ節の摘出も重要となります。首、胸、おなかの三つの手術を一度に行うため、手術時間が長く体の負担が大きくなり、術後の合併症(続発症)の頻度も高くなります。

部分切除せず臓器摘出



手術を安全に受けるためには、まず生活習慣の改善が必要です。喫煙者や多量飲酒者が食道がん

にかかりやすく、禁煙・禁酒が重要になります。進行した食道がんでは、手術に先立って化学療法(抗がん剤治療)を行うことが一般的です。



一度で3部位長時間に

がんを小さくすることで手術の成功率を上げるとともに、目に見えないがん細胞を手術前に治療しておくこともできます。手術前の方が化学療法を完遂しやすいメリットもあります。手術までに時間がかかることになりませんが、食道がんを克服するという目的においては近道と言えます。ロボット手術も増加していますが、基本的な手術内容は変わりません。内視鏡手術は通常手術と比べて手術時間が長くなりますが、出血量が少なく、術後の回復が早いという利点があります。また、開胸を必要としない縦隔鏡手術も開発されており、高齢者や開胸手術が困難な患者でも実施可能な低侵襲手術として普及し始めています。手術に関わる多職種連携により、食道がん手術の安全性は年々向上しています。正確に食道がんの診断を行い、体力に見合った治療法、手術を計画されることが病氣克服のために大切です。

がん何でもクイズ

がんの発生や進行に直接的な役割を果たす遺伝子は何ですか。

- ①ドライバー遺伝子 ②パッセンジャー遺伝子 ③メンデル遺伝子

行こうよ！がん検診

がんに関する質問は 徳島がん対策センター 電話 088 (634) 6442

(平日午前 8時半から 午後5時まで) へ。

